

認知症医療センターには、一般市民、専門職の方々へ認知症に関する情報を発信し、認知症の普及・啓発を促進するという重要な役割があります。センター便りとして定期的に情報を発信していきます

認知症の非薬物療法 ～デイサービスみんなの家のご紹介～

はじめに

デイサービスなど通所サービスの利用は、認知症の人の行動・心理症状（BPSD）の予防や症状を和らげる効果があることが分かっています。また、ご本人が通所することで、介護者の介護負担軽減にも役に立ちます。

今回は、直方市のデイサービスみんなの家にお伺し、特徴などを管理者の畠間さんにお話をお聞きしました。

デイサービスみんなの家の特徴

金蔵: デイサービスみんなの家の特徴をお教えてください

畠間さん:

当事業所の定員は29名で、市内は勿論、周辺の小竹町、鞍手町、八幡西区まで送迎を行っています。嬉しい事にどの曜日もほぼ一杯の状況です。10名が要支援で、それ以外は要介護の方です。新規のご利用者さんのうち、認知機能が低下した方が増えています。

午前、午後に集団体操を行っていますが、それ以外の時間は、ご利用者さんがしたい事をしてもらい過ごしてもらっています。ゆっくり過ごしたい方にはのんびり過ごしてもらい、人の声が気になる方には別室で過ごしてもらっています。

一応、男性、女性の好みに応じたメニューも用意しています。例えば、脳トレ、習字、トランプ、フラワーアレンジメント、手芸などや、リハビリ機器もあります。何をするか、しないかは、ご本人にお任せしています。プログラム通りだと、デイサービスが仕方なく通う場所、時間を潰す場所になってしまいます。



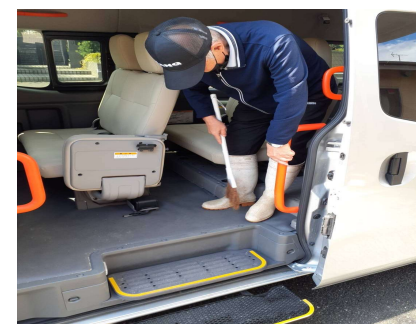
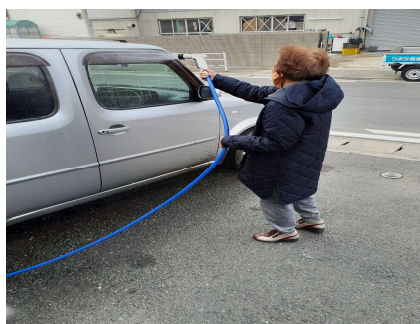
一人ひとりのご利用者さんが出来る事で役割をもってもらえるよう努めています。例えば、昼食時の配下膳、コップ洗い、体力がある方には洗車や、当事業所で飼っているウーパールーパー、亀、鯉のお世話など様々です。その人自身がしてみたいと思う事からチャレンジしてもらっています。



幸い、当事業所は、自然豊かな場所にあります。専用の畑があり、畑作業をしたい方には、可能な範囲で作業してもらっています。家で畑作業をしない方でも、ここでは夢中になってしておられます。一緒に藪の中に入り、切り出した竹で門松を作るのが当事業所では恒例行事になっています。

他人の役に立つという気持ちが湧いてくると、表情が生き生きしてきます。リハビリというと身体機能の面が重視されますが、その方の心を動かすことがリハビリだと思いますし、それが何かを見つけるのがスタッフにとって重要な役割だと考えています。

月に1回は外出します。何処に行くかはみんなの要望を聞いて決めています。春は桜やチューリップ見に行ったり、去年の夏は涼みに竜王峡に行きました。



■ 認知症の人に関わる上で

金蔵: 認知症の人に関わる上で心がけておられる事は？

島間さん:

当事業所では、認知症がある方を認知症の〇〇さんという見方はしていません。症状はその人の特徴ですし、他の利用者さんと同様に接しています。

中には、利用途中で、不安になり落ち着かなくなる人もいます。その

場合、ドライブに出かけるなど、その人に楽しんでもらえそうな事を一緒にします。また、夕方になるとそわそわする人には、何かお手伝いをしてもらうなど、その方が不安にならないよう対応しています。特に心掛けている点は、1日の状態の変化を見計らいながら、その時々で楽しんでもらえる事を見つけることです。不穏になってからでなく、そうなる前に対応するのが重要だと思っています。



地域には、家族やケアマネジャーが通所を勧めても拒む人がたくさんおられます。通所の必要性が高い人の場合、定期的に自宅を訪問しています。なかなか直ぐに繋がらない方が多いのですが、外部との関わりをもつ機会にもなりますので、粘り強く、訪問を続け、お誘いしています。

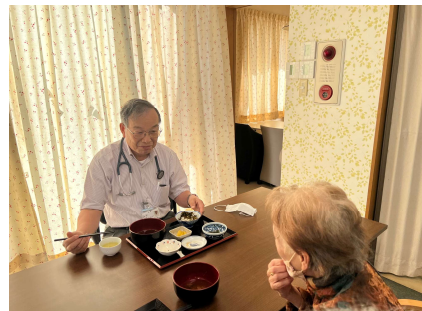
その結果、体は衰弱し、生活状況は昼夜逆転、入浴も食事もしていない人や、自宅では暴力的であった人が通所するようになり、色々な人と関わるようになったことで、今では心身共に落ち着いて、活気も出て、楽しく過ごしておられます。

■ その他 PR

金蔵: その他 PR しておきたい事は何か？

畠間さん:

そうですね、自慢は食事。殆ど手作りです。メニューも豊富で、ボリュームもあって、一人暮らしで、家では十分食べない方も「美味しい」と言って残さず食べておられます。



それと事業所の隣がみずほ内科・レディースクリニックで、輪田先生が昼食を食べに来られます。先生は認知症サポート医で、利用者さんの心身両面の事で色々相談にのってもらっていて、とても心強いです。すぐ身近にホームドクターがいる事業所は珍しいのではないのでしょうか。

金蔵: 利用者さんに楽しい時間を過ごしてもらえよう、様々な工夫をしていらっしゃる事がよく分かりました。お話をお聞きしながら、ふと「パーソン・センタード・ケア」という言葉を思い出しました。とても素敵な実践だと思います。今日はどうも有難うございました。

デイサービスみんなの家

〒822-0003 直方市大字上境 289-1

電話 0949-25-8736 FAX 0949-25-8737

E-メール day@minnanoie-nogata.com

定員数 29名

営業日:月曜日～土曜日(祝日も営業しています)

営業時間 8時30分から17時30分

休日 日曜日、年末年始

Instagram



グループLINE



2024 年度第 1 回認知症啓発のための公開セミナーのご案内

[メインテーマ]

「認知症と認知機能が低下した人の自動車運転と生活を考える」

[開催日]

令和 6 年 8 月 30 日 (木) 13:00~16:30

[会場]

直方鞍手医師会館 (直方市大字山部 808-13 TEL 0949-22-0448)

[プログラム]

13:00~14:30

(記念講演)

テーマ「認知症と認知機能が低下した人の自動車運転と生活を考える」

講師 高知大学医学部保健管理センター

准教授 上村 直人 (かみむらなおと) 先生

14:40~15:40

(講演)

テーマ「県内および直鞍地域における高齢者の自動車事故の現状」

講師 直方警察署交通課交通総務係長 生野真一警部補

16:00~16:30

(質疑応答)



お申込みはコチラ



医療・福祉・介護の専門職向け「認知症セミナー」を開催いたします

認知症の医療・介護に携わる専門職が、認知症に関する医学的知識及び支援方法について学び、対応力の向上を図ることを目的に 7 回シリーズで開催いたします。

参加費は無料です。参加方法は、セミナーは ZOOM および会場 (直方イオンモールイオンホール) 参加のいずれかをお選びいただけます。詳しくは、当院ホームページをご覧ください。なお、ご意見、ご質問等は下記の事務局までご連絡ください

〈プログラム〉

第 1 回「認知症の基礎知識」講師 みずほ内科・レディースクリニック 院長 輪田順一先生

第 2 回「認知症の薬物療法」講師 医療法人福翠会高山病院 薬剤師 白石英樹薬局長

第 3 回「認知症の中核症状のとりえ方と対応法」講師 高山病院福岡県認知症医療センター 金蔵常一

第 4 回「認知症の非薬物療法」～グループホーム・デイサービスの実践から～講師 グループホームみんなの家 山本幹雄さん

第 5 回「認知症の周辺症状のとりえ方と対応法」講師 高山病院福岡県認知症医療センター 金蔵常一

第 6 回「認知症の非薬物療法」～ノーフティンゲケアとユマニチュード～ 講師 ToTb デイサービス 柚朝香智行さん

第 7 回「専門職に望むこと」～認知症の当事者と支える家族の声～

(当事者の立場から) 下坂厚さん (写真家・京都府認知症希望大使)

(家族の立場から) 宗廣壽美子さん (認知症の人と家族の会直方代表)

[編集・発行]

医療法人 福翠会 高山病院 福岡県認知症医療センター

〒822-0007 福岡県直方市下境 3910-50

TEL 0949-23-0520(専用電話) FAX 0949-24-0838

E-Mail takayamaninchis@gmail.com URL <https://nogata-fukusuikai.jp/>